

鬼に金棒！丸暗記術

—— 螢雪ゼミナール瑞穂校 橋本承太郎

【理科・音の世界】

みなさん、こんにちは！今日は身のまわりの現象から音の世界について勉強していきましょう！私が音の高低について授業をするときは、私が細いゴムと太いゴムを指で張って、生徒にはじいてもらいます。ギターのように、弦のはじき方や弦の長さ、張り方によって、出る音が変わりますが、どうしたら高い音が出るのか、を今回は勉強していきましょう。

2択クイズを3問出します。高い音が出るのは次のうちどちらをはじいたときでしょうか。

- ①弦の太さ A：細い B：太い
- ②弦の長さ A：短い B：長い
- ③弦の張り方 A：強い B：弱い

この問題を考える時は皆さんも輪ゴムを用意して、指で張ってはじいてみたときの音を聞いてみてください（是非親子でやってみましょう！）。正解は、すべてAでした。

細くて、短くて、強く張ると、振動数が多くなり、高い音が出るのです。これを、「ほそみじきょう」と唱えて覚えるのです。何を信じるかはいろいろな考え方がありますが、音の世界では「ほそみじきょう」こそ絶対なのです。

しかし、ただ唱えるのではなく、せっか

どうやったら弦から高い音が出るかな？

唱えよう！「ほそみじきょう！」



担当教科 数学・理科
好きな言葉は「鬼勉」。学生時代、テスト勉強中によく唱えていた言葉です！

くなので高い声で「ほそみじきょう！」と唱えてくださいね（是非親子でやってみましょう！）。

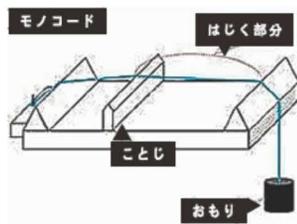
音の高さ	低 ⇔ 高
振動数	少 ⇔ 多
弦の太さ	太 ⇔ 細
弦の長さ	長 ⇔ 短
弦の張りの強さ	弱 ⇔ 強

では、音の高低はどのように出題されるのでしょうか？

このようにモノコードの問題で

は、弦の長さはことじを使って調節します。ことじを左右に動かすことによってはじく部分が長くなったり短くなったりします。また、張り方はつるすおもりの数や重さを増やすことによって強く張り、減らすことによって弱く張ることができます。

高い音を覚えてしまえば、その反対が低い音と考えることができます。効率よく覚えるために高い音をしっかり覚えることで音の高低の問題も解くことが簡単になりそうですね！



岐阜新聞

真学塾

GOLD

学びを楽しく。地域版で連載している「岐阜新聞真学塾」をパワーアップさせたコーナーです。